

学校だより

あ お ぎ り

No. 6

平成23年8月29日

須崎市立森上小学校

2学期始まる

22日(月)から、2学期が始まりました。

今年の夏休みは、最初涼しい日が続きました。中頃は猛暑、そして終盤にきてまた少し涼しくなるという気温の変動の激しかった休みでしたが、大きく体調を崩したりけがをしたりする子どももいなかったようで、とても良かったと思います。

プール当番も、ご協力ありがとうございました。

前半の涼しい時期にプール開放が重なったためか、係の集計によるとプールの利用は平均して25%程度(4人に1人がプールに来る)に終わったようです



【楽しいよ、水遊び... 1年生】

が、無事、終了することができました。

適度な湿り気があり、途中気温の高い日が続きましたので、敷地内の植物や作物は、すくすくと伸びました。

敬組では、穫れたトマトやナス・カボチャなどを24日(水)に校内でさっそく販売。あっという間に完売してしまう盛況ぶりでした。

「雑草」の部分は、9月4日(日)のPTA作業で除去をお手伝いいただくことになると思います。またよろしくをお願いします。



【大きく生長...理科園のヒマワリ】

力作ぞろい...夏休みの作品

日記、工作、理科の自由研究、絵、新聞など、それぞれの学年で夏休みの課題となっていた子どもたちの作品が、今、教室や廊下に所せましと並べられたり飾られたりしています。

見応えのあるのは、やはり、理科の自由研究です。3年生以上の全員が、テーマを決めてそれぞれ取り組みました。

今年は、東日本大震災の影響か、地震に関連した内容を取り上げた作品も目立ちました。

左の自由研究の作品は、地盤の固さの違いによる揺れ方の違いを

調べたものと、液状化現象について調べたものです。どちらも、きちんと実験・考察がしてあり、科学的な探究がよくなされています。

6年生は、新聞コンクールに出品する作品もまとめてきました。

テーマも様々で、どれも非常に良くまとめられています。さすが、6年生です。子どもたちの作品、ぜひ、ご覧になってください。



【始業式の校長講話】

宮澤賢治の話をしします。

宮澤賢治は、3月11日の大地震で被災した岩手県出身です。今朝、担任の先生から「雨にもまけず」の詩を読んでもらったと思いますが、冒頭の「雨にもまけず、風にもまけず」の部分が大変強い気持ちを読む人に伝えるからでしょうか。昔から、学校で学習に使われたり、今回の大震災の後も、いろいろなところで引用されて使われたりしています。

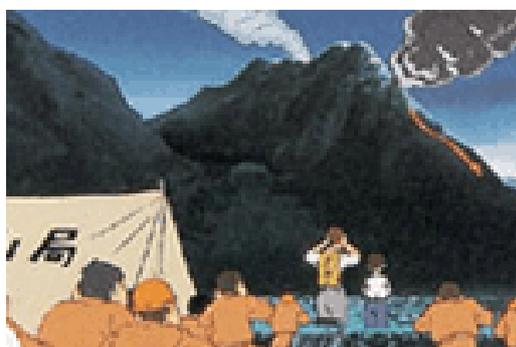
宮澤賢治は37歳という若さで病気のために亡くなりましたが、たくさんの童話や詩を残しています。「セロ弾きのゴーシュ」とか「どんぐりと山猫」など、どれも有名です。6年の教科書には、「やまなし」の話が載っていますね。

私が6年の時の教科書に載っていたのは、「グスコブドリの伝記」というお話です。これは、こんなお話です。

ブドリ少年が住む土地は毎年のように夏に気温が上がらず作物がとれないため、みんな大変苦しんでいました。ブドリの両親も、子どもたちに食べ物を残すため、自分から死んでしまいます。妹は悪い人に連れられて行ってしまい、ブドリは独りぼっちになってしまうのですが、親切な人に救われ、そこで、働きながら勉強させてもらい、大きくなって火山局で働くようになります。

火山局では、火山の噴火で地震が起きたり溶岩が流れたりして人々が災害に巻き込まれないように、火山の情報を伝える仕事をしていました。

ある時、また、寒い夏が続き、作物がとれなくて人々が困る年が続きました。ブドリは、「火山を爆発させて空気中に二酸化炭素ガスを増やせば温かくなるはずだ」と考え、



人工的に火山を爆発させようとしています。でも、その計画では、爆発のスイッチを押す人は、最後までその場所に残らなければならないため、死ぬことが分かっています。ブドリは、「自分のような苦しみを味わう子どもを一人でもなくしたい。そのために自分が犠牲になるのは何でもいい。」と言って、一人島に残り、スイッチを押すのです。

ブドリのおかげで火山は爆発し、気温が上がってその年の作物は豊かに実りました。

宮澤賢治の話には、こういう「自分を犠牲にして、他人のために何かをする」という話がとても多いです。それは、「雨にもまけず」の中で、「けっしていからず いつもしずかにわらっている」「病気の子もがいれば 行って看病してやり」「つかれた母あれば 行ってその稲の束を背負い」「けんかやそしょうがあれば つまらないからやめるといい」「そういうものに わたしはなりたい」と言っているように、心の底から他人のために何かしたいと考える気持ちがあるからだと思います。

毎回、話しているように、森上小学校の目標は「やさしい子」「やりぬく子」「やくそくを守る子」です。宮澤賢治の姿は「やさしい」の姿だと思います。ブドリは、「やさしい」のと「やりぬく」姿ですね。

2学期にも、たくさんの行事があり、たくさんの学習をします。それぞれ、目標を決めたと思いますが、「なりたい自分」「がんばる自分」を目標に、がんばっていきましょう。

最後に、もう一つ。夏休みに、先生方全員で、図書館の本の貸し出しが簡単にできるようにするために、全部の本にバーコードが印刷されたシールを貼る作業をしました。もう少し準備があるので、機械による貸し出しは10月頃からになると思いますが、本を借りる時に、シールにはどんなものが印刷されているのかなど、楽しみに見てください。本とも、もっともっと友だちになっていきましょう。